



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2023年5月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

LT (Leadership Training) Youth(ユース)

— 主題 —
国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「輝かそう、あなたの光を」
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
「未来に向けていますぐ行動しよう」
「出来ることから今すぐ行動しよう！」
「Sustainable Y~中学生、高校生、ユースとともに~」

Ulrik Lauridsen
Chen Ming Chen(台湾)
佐藤 重良 (甲府21)
小谷 和雄 (札幌北)
伏木 康 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 伏木 康
副会長 中田 靖泰
書記 小野 健
会計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

だれに対しても悪をもって悪に報いず、すべての人に対して善を図りなさい。
あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過ごしなさい。
~ローマ人への手紙 12章 17-18節 小野 健選

巻頭言 「マンダラチャート(目標設定シート)」 札幌クラブ会員 山崎 修

今や毎日報道で目にする大谷翔平選手がやっていた曼荼羅チャート(目標設定シート)が注目されています。



遙か遠い先の夢を見つめる山崎会員

マンダラチャートとは、9×9の合計81mマスで構成された目標達成のフレームワークです。仏教の曼荼羅(マンダラ)を由来としており、「マンダラート」と呼ばれることもあります。マンダラチャートは、試行を整理することができる技法として注目されています。(上記チャットGTPより回答)

松井秀喜氏も、最近ニュースで言っていました、「大谷翔平選手を見ていると、自分の志は低かったな」と感じたと言っています。」(このニュースもチャットGTPより回答)松井氏もそう語るほど、何と云っても大谷選手のすごいところは、夢の設定・志の高さだと思います。そのような大きな夢を口に出す子供たちはたくさんいますし、とても良いことだと思います。

そこから、大谷選手のように夢を実現する手段の一つとしてマンダラチャートで具体的な日々の目標や、やるべきことを可視化することが有効な手段の一つだったのでしょ。 2

日本経済は低迷していますが、大谷選手以外でもあらゆるスポーツの日本人の昨今の世界的な躍進は飛躍的だと感じております。大きく変わったのは、今の選手は当たり前前に外国語でコミュニケーションが来ています。日本人が大活躍している大きなファクターでしょう。ライバルの選手からも様々情報を得て自分の練習に取り入れたりすることもできます。

先日、子供のモーグル講習会が手稲で開催され、カナダやスウェーデンなどからも世界トップの選手たちが講師で訪れましたが、その中に前回銅メダリストの堀島選手もいて、選手同士の国の境目がない雰囲気がとても良いと感じられました。

大谷選手の志の高さに関して、レベルは違えども私もモーグルの選手時代、日本人がワールドカップ決勝進出(16位以内)など、程遠い時代に決勝進出を夢見てモーグルに挑みました。やがてまさかの決勝進出を意外に早い段階で果たし、夢を達成すると、そこから夢の更なる高みを目指す再設定が、結果本気でできなかった経験があります。夢の再設定が難しいことを思い知らされました。

以来、スポーツに志す若手の方々に話す機会があれば、「夢の設定は目指してもかなわないくらいの夢を設定することが大切」と話しております。

東日本区もマンダラチャートを!

山崎 修 北海道滝川市生。全日本フリースタイルスキー選手権モーグル優勝3回。1992年アルペールオリンピック・モーグルに日本人として初めて出場。現在、実業家として活躍。東日本区も夢とマンダラチャートを持ちましょう!

2023年4月例会
出席報告

在籍会員 9名
ゲスト 4名

出席者 8名
ビジター 2名

メネット0名
出席者合計 14名

メーキアアップ 0名
出席率 89%

札幌・札幌北クラブ 2023年5月合同例会

日時：2023年5月16日（火）18:30～20:30

会場：北海道YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目

会費：1,000円（食事あり）

プログラム

- | | | |
|-------------------|-------|-------|
| | 司会 | 秋葉 聡志 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 伏木 康 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全 | 員 |
| ③ 今月の聖句 & なぜこの聖句を | 秋葉 聡志 | |
| ④ 開会あいさつ | 会長 | 伏木 康 |
| ⑤ 誕生日 | | |

札幌クラブ 5月 3日 宮崎 善昭

5月 6日 柴田 邦子

5月16日 宮崎 由美子

5月18日 秋葉 康子

5月26日 北川 佳治

5月28日 伏木 康

札幌北クラブ 5月 5日 森本 絢子

⑥ 結婚記念日 5月 2日 秋葉聡志、康子

5月 7日 宮崎善昭、由美子

⑦ 卓話

世界YMCA大会

「レポート・ヴィジョン2030」

日本YMCA同盟 杉野 歌子さん

⑧ 今月の歌

「時代おくれ」

（中田靖泰選）

⑨ 諸報告

⑩ YMCA報告 担当主事

⑪ 札幌クラブ報告 札幌会長 伏木 康

札幌北クラブ報告 北会長 小谷 和雄

⑫ 閉会挨拶 札幌北クラブ会長 小谷 和雄

札幌クラブ会長 伏木 康

何故この聖句を 次期会長 小野 健

ウクライナの戦争が先の見えないまま続く中、アフリカのスーダンでも4月から内戦が発生してしまいました。テロの脅威も続いています。お互いが争い傷つけあいのは人間という生物種の性なのか、お互いを理解し思いやる社会をどうしたらつくっていいのか、一人の人間として何ができるのか、色々と考えてしまう今日この頃です。

札幌ワイズメンズクラブ4月例会

日時：2023年4月18日（火）18:30～20:30

場所：札幌YMCA101教室

参加者：秋葉、小野、北川、柴田、中田、宮崎、山崎、（札幌北）小谷、高杉、（十勝）山下

ゲスト：星野、佐藤、本宮



写真上：後列左から、北川、小谷、山崎、高杉、秋葉、柴田、本宮
前列左から、佐藤、中田、伏木、小野、宮崎、



左：小野健次期会長 2大陸を股にかけて頑張って！
右：伏木康現会長 ご苦労様でした。

北海道部第2回評議会・次期役員研修会

ホスト：北見クラブ

日時：5月13日（土）13:00～（登録受け付け）

場所：札幌YMCA（札幌市中央区南11西11）

電話 011-561-5217

13:30 第2回評議会

15:15 次期役員研修会（部会）

16:45 写真撮影

（写真撮影後、懇親会場へ移動）

17:30 懇親会

基調講演：

講師：山田公平氏（次期東日本区理事）

登録費：2,000円

登録費・懇親会費：5,000円

懇親会会場：ライオン狸小路店（3階）

中央区南2条西2（狸小路2丁目）

電話 011-251-1573

4月例会卓話

なんでブルキナファソでダイズ 星野 紀子さん



4月18日の例会の卓話では、西アフリカのブルキナファソで、大豆を学校菜園で作って給食に繋げる活動をしているADIMA(農業人のための革新的な開発を目指す会)代表の星野紀子さんからお話をいただきました。

星野さんは、大学卒業後よりアフリカに関わる仕事をされて、セネガルでのJICA青年海外協力隊(農村開発普及員)やブルキナファソでのJICA企画調査員・専門家などを歴任されてきました。ブルキナファソでは大豆バリューチェーンの振興を中心に活動されたことを契機に、2019年にADIMAを立ち上げて、同国での大豆による農家の所得向上や子供たちの栄養改善などに取り組んでいます。

ブルキナファソで大豆が作られるようになったのは諸説ありますが、一番有名ではっきりした政策として取り上げたのが、アフリカ人であればだれでも知っているブルキナのヒーロ、トーマス・サンカラです(1983年～1987年までブルキナファソの大統領であった人で「アフリカのチェ・ゲバラ」とも呼ばれて35年以上経った今でも多くの人に尊敬されています)。彼は輸入に頼らず自分たちが食べるものは自分たちで作って消費することを目指していました。しかし、彼が導入した大豆とその加工食品は、「不味い」ということでかなり不評ではあったようです。

その後少しずつブルキナファソで大豆が生産されるようになってきました。代表的な換金作物であった綿花の代替作物として注目され、2008年ごろから生産量が大きく伸びてきて、現在では約2万5000トンほどの国内生産量となっています。世界市場の需要により販売価格が増加していて、生産量の半分は輸出、残りは国内で飼料用として利用されています。最近では植物性たんぱく質が豊富であることから、栄養改善のための食品として注目されてきています。(下: 一所懸命に種を蒔く子供たち)



ブルキナファソでは大豆は油や豆乳、離乳食などとして消費されています。最近では豆腐を串焼きにしたプロシエットが人気で(唐辛子を効かせた焼き鳥風でお酒のつまみとしては最高です)、首都ワガドゥグ市内のいたるところで見かけます。

ブルキナファソの学校では給食が制度としてあるのですが、国から各学校に支給される食材は、コメ、トウモロコシ、マメ(ササゲ)、油に限られ、しかも9か月の学業期間中のうち3か月分のみは支給となっているのが現状です。子供の成長に不可欠はタンパク質がほとんど摂ることができず、給食食材のない6か月間は貧しい保護者からの現物支給で給食が運営されているために、給食ができず、子供たちが学校に通わなくなる原因の一つとなっています。



そこで、星野さんたちは、大豆を使ったクスクス(粉状の pasta)を開発して、学校給食に活用する活動を開始しました。大豆のクスクスで子供が1日に必要とするタンパク質の76%を1食で賄うことができます。学校菜園で子供たちが大人と一緒に大豆を栽培したり、給食調理を行う女性への調理実習などの活動を行っています。

学校菜園での活動は、学校を中核とした地域の相互扶助が醸成されることで、貧しい農家が実率して子供たちの健康と将来を守っていけるようにすることを目指して行われています。活動は農業省や教育省との連携によって行われ、2022年までに53のパイロット小学校、9,700人の児童に対して活動が行われています。

これからの活動として、これまで2回のクラウドファンディングを成立させてきており、大切な資金調達であるとともに、活動を沢山の方に知って頂く本当に貴重な機会を引き続き行っていく予定です。同時に、農家さんたちに自立を訴える団体として、自分たちも自活することをそろそろ目指したいと考えてもいます。世界的にも糖尿病に代表されるような成人病は増える一方で、アフリカには、まだまだ栄養失調や貧しくても肥満などの健康の問題を抱えている方もいる一方、かなりの勢いでいわゆるお金持ちも増えています。こういった方をターゲットにした、大豆で皆が、社会が健康になるようなソーシャルビジネスを作れたら、と思っています。



写真 上: 大豆クスクス給食を食べる子供たち

YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

札幌クラブ4月事務会報告

① 全道職員研修報告

5月1日(土)に北海道YMCA(札幌・北見・とちか帯広)全職員を対象とした、研修会を開催しました。

今年のテーマは、「YMCAストーリーをつなぐ」。

1. 秋葉総主事による講話「北海道YMCAの歴史」
2. 日本YMCA同盟杉野歌子さんによる講話「世界YMCAビジョン2030」、
3. 交流プログラム、
4. 職員による「My YMCA Story」の共有とディスカッション、の流れで研修を行いました。

今回の研修では、北海道YMCAの歴史的な学びや世界YMCAが目指しているものの共有の機会が持てたこと、そして、職員交流が行えたことで、YMCAスタッフとしての帰属意識やスタッフ間の相互理解が一層深まったと思われます。

今回は、全てオンラインではなく、ランチ単位では対面方式で研修を行えました。来年は全ランチ合同の対面型で研修が行えることを期待しています。

② YMCA インターナショナルチャリティラン:

北海道YMCAインターナショナルチャリティラン2023が5月21日～6月30日の期間でオンライン開催されます(申込方法は以下表記)。障がい児支援イベントとして、オールジャパンYMCAで取り組んでいる本企画は、北海道では28回目となります。

今年は、2段階開催としまして、夏から秋頃を目安に1DAYのリアル開催を行う予定としております。リアル開催のお知らせは改めてご案内致します。皆様のご参加心よりお待ちしております。

【申込方法】

- ① 申し込み用紙に記入の上、費用を添えてYMCA受付にお出し下さい。
- ② QRコードから申込専用画面に必要事項を入力してください。
- ③ 参加費は札幌YMCA受付又は下記の銀行口座に振り込んでください。
北洋銀行 石山通支店
普通口座 No.3022292
口座名:北海道YMCA



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

日時: 2023年4月25日(火) 19:00～20:00
(対面・オンライン☆併用開催)

出席: 伏木、柴田、中田☆、小野☆、宮崎、秋葉

① プリテン5月号について

・中田メンより配信される分担表に基づき作成する。

② 北海道部部会・研修会

日時: 5月13日(土) 13:30～16:30 懇親会
17:30～19:30 場所: 札幌YMCA 懇親会(未定)

出席者: 宮崎・柴田・伏木・中田(部会のみ)・

北川(部会以降参加)

欠席者: 秋葉・小野 ※委任状提出必要

③ 5月例会について

日時: 5月16日(火) 18:30～20:30 ※食事付で実施。オンライン併用 場所: 札幌YMCA

会費: 1,000円

卓話: 「世界YMCA大会レポート+ビジョン2030」
日本YMCA同盟杉野歌子スタッフ

④ チャリティランについて

・近日中に案内配布

・5月21日(日)～6月30日(金)の期間でオンライン開催

・北海道部あてCS資金を札幌クラブ伏木会長名で3万円申請する。

⑤ 5月事務会について

日時: 5月23日(火) 19:00～20:00

場所: 札幌YMCA 総主事室

・札幌北クラブのメンバーにも参加を呼び掛け、北クラブ合同の事務会とする。

☞伏木会長より小谷会長に連絡

⑥ 東日本区大会(甲府)について

・札幌クラブより参加者なし。・甲府クラブより広告出稿依頼あるも、今回は出稿せず。

⑦ 北海道部チミケップワークについて

・日程: 6月17日(土)・参加者: 宮崎・柴田
・小野(日帰り) 伏木(調整中)

⑧ 6月例会について

・当初、汝羊寮での移動例会を検討したが、4月より入寮生が住んでいるため実施は難しい。

・YMCAでの通常例会とし、武蔵理事長に学Yをテーマとした卓話を打診する。秋葉より依頼

⑨ 新入会員候補について

・3月、4月例会に参加した本宮大輔さんは入会
の意思を表明されている。6月入会式の予定で伏木
会長から改めて意思確認をする。

⑩ その他

・中田メンより情報提供のあった、札幌在住ウク
ライナ人女性クラコワさんとのコラボ企画がで
きないか協議した。

・まずは、次年度例会の中で卓話をお願いするこ
とにより繋がりをつくり、9月17日予定の
YMCA国際チャリティーイベントでクラコワさ
んとのコラボイベントを組み込めると良い。
・上記構想の実現に向けて、クラコワさんの連絡
先を全員で調査することとした。(秋葉記)